

きのかわ支援学校 教育支援部だより

令和元年度 No.7

紅葉が美しい季節になり、本校の壁面もすっかり秋・冬バージョンになっています。
散歩に行き秋の風景を見たり、写真で見たりして、イメージを持って、製作しています。

今回は、製作活動の中で、大切にしていることを紹介します。

～小学部5年生の作品

紙粘土と手芸ひもによるどんぐり

この壁面飾りには、いろんな工夫が隠れています。

① 色々な素材に触れる

→カッティングボードを使って、枝を表現
手芸ひもや紙粘土を使って、どんぐりを表現(ともに100均)

② 平面だけでなく、イメージして立体のものも制作する

→木(平面)ーどんぐり(立体)

③ みんなが同じ作業ではなく、課題に応じて作業

→はさみを使い枝を表現する子ーぬたくりで幹を表現する子

④ みんなが同じ量ではなく、課題に応じて量を調整

どんぐりをいくつも作る子ーどんぐりは1つで、落ち葉を手でしわ付け立体にする子



- ・まずは・・・イメージができるよう、実物を見たり、触れたりする
- ・いろいろな素材や道具に触れる
- ・個々の実態に合わせて、課題や量を変更する→合理的配慮

以上のようなことを大切にしながら、楽しんで制作する中で、個々のねらいを達成したいものです。